

だいしちく

# 新年恒例 江戸消防記念会（第七区一番組）

だいしちく

き

令和8年1月6日、江戸消防記念会第七区一番組の皆様が威勢のいい「木遣り」を響かせ、「纏」を舞わせながら来署され、荏原消防署員と荏原消防団員でお迎えしました。今年も地域の安全・安心を守るため、署員、団員一同精一杯励んでまいります。

※ 「木遣り(きやり)」とは・・・ 火事の多かった江戸時代、消火活動の中心を担ったのは、勇気、機敏、技術に秀でた鳶職人で組織された町火消でした。その伝統を現在に伝えるのが江戸消防記念会です。「木遣り」とは、もともと鳶職人の唄でしたが、町火消しの唄として自然と受け継がれていったといわれています。



きや

響き渡る木遣り



まとい

高く舞う「纏」



署員、団員でお迎え



とお

一本(十)締め